

月刊『日本の学童ほいく』

定価改定へのご理解と引きつづきのご購読のお願い

全国学童保育連絡協議会

日頃より、月刊『日本の学童ほいく』をご購読いただき、まことにありがとうございます。

2019年10月から消費税率が10%に変更され、紙・印刷・製本代、配送料など本誌の製作原価が上昇するなか、定価変更を行わない方策を模索して議論を重ね、会として大幅な経費の削減に努めてまいりましたが、まことに不本意ながら、2021年4月号より本誌の定価を391円(本体価格355円)に改定させていただきます。

本誌は1974年の創刊以来、日本で唯一の「学童保育の月刊誌」として、よりよい学童保育をつくり・広める一翼を担ってきました。学童保育に子どもを通わせている保護者、子どもと共に生活を築く指導員、そして研究者の方々が書き手となり、読者となり、誌面を通じて「働きながらの子育て」「指導員の実践」そして「学童保育をつくり、増やし、施策の改善を進める取り組み」などの経験を交流しています。

また、皆様のお力添えのおかげで、50年近くにわたり定価は消費税増税分の改定のみにとどめ、大幅な値上げは行わない努力を重ねてきました。しかしながら、諸般の事情により、安定した刊行を維持することが、非常に厳しい状況となっています。

「新型コロナウイルス感染症」拡大の影響もあり、社会全体がたいへんな状況にあるいま、皆様に無理なお願いを申し上げますことを心からお詫び申し上げます。

会としても、いっそうの鋭意努力を重ねてまいりますので、なにとぞ定価改定へのご理解を賜りたくお願いを申し上げます。

どうか今後も引きつづきご購読くださいますよう、お願い申し上げます。

2021年4月号からの定価改定について

定価391円(本体価格355円)に変更させていただきます。

なお2021年3月号までの本誌については、これまでと同様、定価340円(本体価格309円)で販売します。